

Patent Number: JP63148457 (No.4)

**PURPOSE:**To prevent the insertion of a cassette from the direction besides a specific direction by providing the displacement member displacing so as to release the pressure received from a taper part in case of the taper part of a cassette abutting at the time when the cassette is inserted.

**CONSTITUTION:**In case of a cassette 1 being inserted in the arrow mark A direction in the correct upper and lower, right and left and front and back directions for a lower plate 3 and top plate 2, the lever 4 as the displacement member pressing the taper part of the cassette by a pressing part 4a according to the cassette 1 being inserted in a direction A because of the shape of the opening part of the cassette 1 attaining to a taper shape, is to rotate in the direction of an arrow mark B against the pressure of the pressing part 4a with a point C as the axis according to the tapered shape of the opening part of the cassette 1. Also, in case of the cassette 1 being inserted in a mistaken direction for the top plate 2 and lower plate 3 the misinsertion of this cassette 1 in the direction 4 can be prevented because of its locking at the corner part of the cassette having no taper with the lever 4 serving as a stopper.

④

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 昭63-148457

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>  
G 11 B 15/675識別記号  
1 0 1庁内整理番号  
7201-5D

⑭ 公開 昭和63年(1988)6月21日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 カセット装着装置

⑯ 特 願 昭61-294632

⑰ 出 願 昭61(1986)12月12日

⑱ 発 明 者 安 藤 昌 弘 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キャノン株式会社  
玉川事業所内  
⑲ 発 明 者 森 田 攻 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キャノン株式会社  
玉川事業所内  
⑳ 発 明 者 樫 村 一 則 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キャノン株式会社  
玉川事業所内  
㉑ 発 明 者 佐々木 尊 英 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キャノン株式会社  
玉川事業所内  
㉒ 出 願 人 キャノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
㉓ 代 理 人 弁理士 田北 衛 晴  
最終頁に続く

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

カセット装着装置

## 2. 特許請求の範囲

記録媒体を収納し、一部にテーパ部を有するカセットを装着する装置において、前記カセットを挿入する際に、前記カセットのテーパ部が当接した場合、前記テーパ部より受ける押圧力を直ぐ様に受位する受位部材を備えたことを特徴とするカセット装着装置。

## 3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

記録媒体を収納するカセットを装着するカセット装着装置に関するものである。

[従来の技術]

従来この種の装置において、カセット挿入の際にカセットを誤った向きで挿入してしまうことがあった。

第7図は従来のカセット装着装置の一例を説明する為の側面図で、同図(a)はカセットの正し

い挿入状態を示し、同図(b)、(c)、(d)は誤った挿入状態を示す図であり、1はカセット、2はカセット装着装置における天板、3はカセット1を保持搬送する為のカセットホルダの下板である。

第7図(a)に示すように、本来カセット1は天板2、下板3に対してこのような上下、左右、前後の向きで、矢印Aの方向へ挿入されなければならないにもかかわらず、第7図(b)のようにカセット1の上下を逆にして挿入されたり、第7図(c)に示すように横にして挿入されたり、また第7図(d)のように前後を逆にして挿入されたりしてしまうことがあった。

[発明が解決しようとする課題]

上記のように従来のカセット装着装置は、誤った向きでカセットが挿入されてもそれを未然に防止する機構を有するものがなく、その結果誤挿入による故障等が発生するという問題があった。

この発明はかかる問題を解決するためになされたもので、簡単な構造にしてカセットの誤挿入

## 特開昭63-148457(2)

を防止するカセット装置を提供することを目的とする。

## 【問題点を解決するための手段】

この発明に係るカセット装置は、配設媒体を収納し、一面にテーパ部を有するカセットを収容する装置であって、前記カセットを挿入する際に、前記カセットのテーパ部が当接した場合、前記テーパ部より受ける押圧力を基がすばに変位する変位部材を備えたものである。

## 【作用】

この発明においては、上述の様な変位部材を設けることにより、カセットを所定の方向以外の方向から挿入されることを防止することができる。

## 【実施例】

第1図、第2図、第3図は、この発明のカセット装置装置の一実施例を説明するための側面図であり、第1図(a)～(d)はカセットが正しく挿入される状態を示し、第2図(a)～(c)はカセットが誤った向きで挿入される状態を示した図であり、第3図は、カセットの誤挿入を防止する

い装置の位置に前記する。

第1図は、カセット1が天板2、下板3に対して、正しい向きで挿入された状態を示すもので、第2図(a)はカセット1の上下の向きが逆に挿入された場合を示した図であり、第2図(b)はカセット1を横に挿入された場合を示した図である。また、第2図(c)は、カセット1の前後の向きが逆に挿入された場合を示した図である。このとき、いずれの場合にも、誤った向きで挿入されたカセット1は、図示のようにレバー4がストップとなって、テーパのないカセットの向端に係止する為、Aの方向への誤った挿入を防止することができる。

また、第3図に示す様に、押圧部4aはレバー部と一体成形されることにより、パネル等により押圧を行う必要がなく、コストを下げることができる。

第4図、第5図、第6図は、この発明の他の実施例を説明するための図であり第4～5図において、5は天板に取り付けられたカセットの誤挿入

のストップとなるレバー4の形状及び構造を詳細に示した側面図である。各図において、1はカセット、2は天板、3は下板、4は天板に取り付けられたカセットの誤挿入を防止する変位部材としてのレバーで、該レバー部を押圧する為の押圧部4aが一体成形されている。

第1図(a)は、カセット1が天板2、下板3に対して正しい上下、左右、前後の向きで、図示の矢印Aの方向へ挿入された状態を示す図である。このとき、カセット1の開口部の形状が図示のようにテーパ状となっている為、第1図(b)及び第1図(c)に示すように、カセット1がAの方向へ挿入されるに伴ない、押圧部4aによりカセットのテーパ部を押圧しているレバー4はカセット1の開口部のテーパ部の形状に従って、図示の点Cを軸に、押圧部4aの押圧力に従って矢印Bの方向へ回転することとなる。この為、第1図(d)に示すように、正しい向きで挿入されたカセット1はレバー4により押圧されながら、さらに矢印Aの方向へ進み、正しい

を防止する変位部材としてのツメで、該ツメ部を押圧する為の押圧部5aが一体成形されている。その他第1図と同一符号は同一又は相当部分を示す。また、第6図は、カセットの誤挿入を防止する為のストップとなるツメ5の形状及び構造を詳細に示した側面図である。

第4図は、カセット1が天板2、下板3に対して、正しい上下、左右、前後の向きで、図示の矢印Aの方向へ挿入された状態を示す図である。このとき、カセット1の開口部の形状が図示のようにテーパ状となっている為、第4図(b)及び第4図(c)に示すように、カセット1がAの方向へ挿入されるに伴ない、押圧部5aによりカセットのテーパ部を押圧しているツメ5は、カセット1の開口部のテーパ部の形状に従って、図示の点Eを軸に前記押圧部5aの押圧力に従って矢印Dの方向へ回転することとなる。この為、正しい向きで挿入されたカセット1はさらに矢印Aの方向へ進み、ツメ5により押圧されながら正しい位置に前記する。

特開昭 63-148457 (3)

第5図は、カセット1が天板2、下板3に対して、誤った向きで挿入された状態を示す図である。第5図(a)はカセット1の上下の向きが逆の場合を示した図であり、第5図(b)はカセット1を横にした場合である。また、第5図(c)に示すのは、カセット1の向きが前後逆の場合である。このとき、いずれの場合にも、誤った向きで挿入されたカセット1は、図示のようにツメ5がストッパとなって、テーブルのないカセットの内部に係止する為に、Aの方内への誤った挿入を防止することができる。

また第6図に示す様に、押圧部5aはツメ部と一体成形されることにより、バネ等により押圧を行う必要がなく、コストを下げることができる。

#### 【発明の効果】

以上説明した様にこの発明により、簡単な構成にしてカセットの誤挿入を防止するカセット装着装置を提供することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

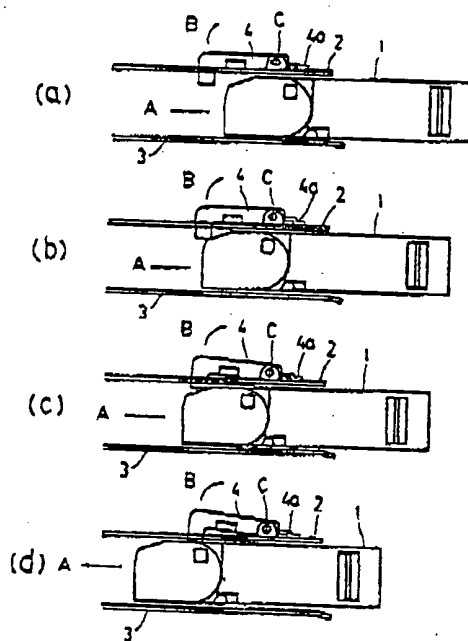
第1図(a)～(d)はこの発明のカセット装

着装置の一実施例において、正しい向きでカセットが挿入された場合の誤挿入防止レバーの動作を示した側面図、第2図(a)～(c)は、誤った向きでカセットが挿入された場合の誤挿入防止レバーの動作を示した側面図、第3図は、カセット誤挿入防止レバーの斜視図、第4図(a)～(c)は、この発明の他の実施例における、正しい向きでカセットが挿入された場合の誤挿入防止ツメの動作を示した側面図、第5図(a)～(c)は、誤った向きでカセットが挿入された場合の誤挿入防止ツメの動作を示した側面図、第6図は、カセット誤挿入防止ツメの斜視図、第7図は、従来のカセット装着装置の構造を示した側面図である。

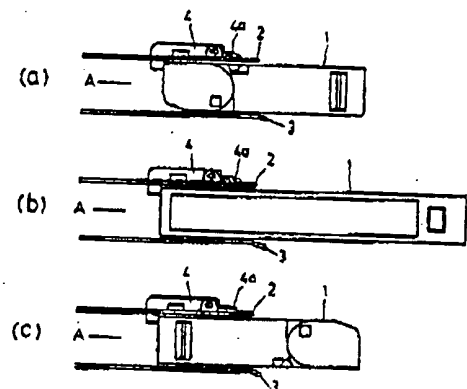
図中、

- |             |        |
|-------------|--------|
| 1: カセット     | 2: 天板  |
| 3: 下板       | 4: レバー |
| 4a, 5a: 押圧部 | 5: ツメ  |

代理人 弁理士 田 北 崇 昭

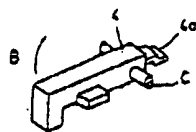


第 1 図

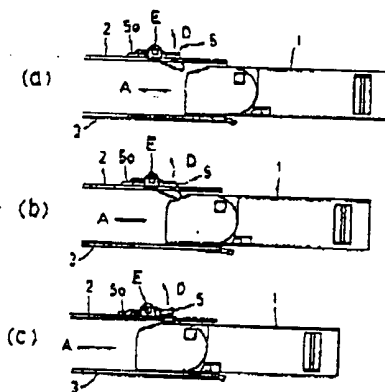


第 2 図

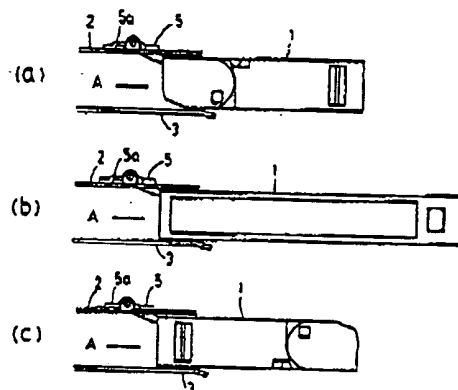
特開昭 63-148457 (4)



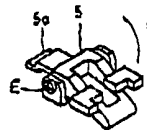
第 3 図



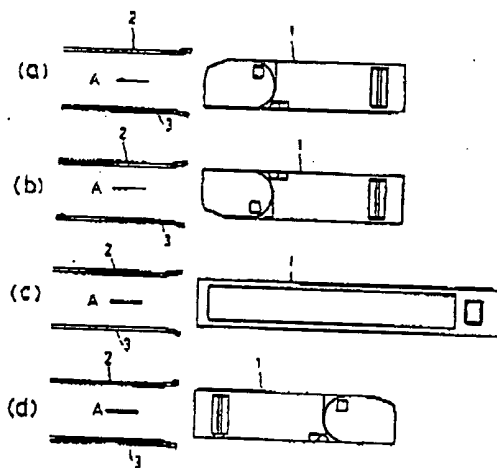
第 4 図



第 5 図



第 6 図



第 7 図

特開昭63-148457 (5)

第1頁の続き

②発明者 近本 浩一 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キヤノン株式会社  
玉川事業所内